

令和6年度

# あわらし子ども議会会議録

令和6年7月30日

あわらし議会

令和6年度 あわら市子ども議会 会議録目次

|            |    |
|------------|----|
| 次第         | 2  |
| 子ども議員      | 3  |
| 補佐役議員      | 3  |
| 答弁のため出席した者 | 4  |
| 事務局職員出席者   | 4  |
| 開会         | 5  |
| 議長あいさつ     | 5  |
| 子ども議会開会    | 5  |
| 質問・答弁      |    |
| 墨谷悠弦君      | 6  |
| 大南勇人君      | 8  |
| 長谷川空輝君     | 10 |
| 小林琉愛君      | 13 |
| 土岐蕾玖君      | 15 |
| 吉村健弘君      | 17 |
| 安父芽衣君      | 19 |
| 東出実依君      | 21 |
| 亀井まひる君     | 23 |
| 牧野莉央君      | 25 |
| 松村琥太郎君     | 27 |
| 木田早耶乃君     | 30 |
| 野坂宗恭君      | 32 |
| 永田侑聖君      | 34 |
| 高橋凜乃君      | 36 |
| 子ども議会閉会    | 39 |
| 市長講評       | 39 |
| 閉会         | 40 |

令和6年度あわら市子ども議会 次第

令和6年7月30日(火)

午前9時30分 開会

1. 開 会
  2. あいさつ あわら市議会議長 毛利 純雄
- 

(子ども議会)

3. 開 会
4. 質 問・答 弁 子ども議員 8名

(暫時休憩) 10分程度

質 問・答 弁 子ども議員 7名

5. 閉 会
- 

6. 講 評 あわら市長 森 之嗣
7. 閉 会
8. 記念撮影
9. 議場見学

子ども議員（16名）

|     |                    |         |     |                    |         |
|-----|--------------------|---------|-----|--------------------|---------|
| 議長  | いとう ゆうき<br>伊藤 悠樹   | 芦原中学校3年 | 1番  | すみや ゆうけん<br>墨谷 悠弦  | 芦原中学校3年 |
| 2番  | おおみなみ はやと<br>大南 勇人 | 金津中学校3年 | 3番  | はせがわ あき輝<br>長谷川 空輝 | 芦原中学校3年 |
| 4番  | こばやし るあ<br>小林 琉愛   | 芦原中学校3年 | 5番  | と き らいく<br>土岐 蕾玖   | 金津中学校3年 |
| 6番  | よしむら たけひろ<br>吉村 健弘 | 金津中学校3年 | 7番  | あちち めい<br>安父 芽衣    | 金津中学校3年 |
| 8番  | ひがして みい<br>東出 実依   | 芦原中学校3年 | 9番  | かめい まひる<br>亀井 まひる  | 金津中学校3年 |
| 10番 | まきの りお央<br>牧野 莉央   | 金津中学校3年 | 11番 | まつむら 琥太郎<br>松村 琥太郎 | 芦原中学校3年 |
| 12番 | きだ さやの乃<br>木田 早耶乃  | 金津中学校3年 | 13番 | のさか そうすけ<br>野坂 宗恭  | 金津中学校3年 |
| 14番 | ながた ゆうせい<br>永田 侑聖  | 金津中学校3年 | 15番 | たかはし りの<br>高橋 凛乃   | 金津中学校3年 |

補佐役議員（16名）

|     |                       |     |                       |
|-----|-----------------------|-----|-----------------------|
| 議長  | もうり すみお<br>毛利 純雄      | 1番  | みかみ ひろあき<br>三上 寛了     |
| 2番  | あおやぎ あつし<br>青柳 篤始     | 3番  | しまだ としや<br>島田 俊哉      |
| 4番  | きのした ゆうじ<br>木下 勇二     | 5番  | きたうら ひろのり<br>北浦 博憲    |
| 6番  | ほりた あけみ<br>堀田 あけみ     | 7番  | むろたに よういちろう<br>室谷 陽一郎 |
| 7番  | むろたに よういちろう<br>室谷 陽一郎 | 8番  | ひらの ときお ※欠席<br>平野 時夫  |
| 8番  | ひらの ときお ※欠席<br>平野 時夫  | 10番 | よしだ たいち<br>吉田 太一      |
| 11番 | やまだ しげき<br>山田 重喜      | 12番 | やぎ ひでお<br>八木 秀雄       |
| 13番 | さきはら ゆきのぶ<br>笹原 幸信    | 14番 | やまかわ ともちろう<br>山川 知一郎  |
| 15番 | きたじま のぼる<br>北島 登      | 16番 | うめ ひろみ<br>卯目 ひろみ      |

---

答弁のため出席した者（15名）

|               |                    |          |                    |
|---------------|--------------------|----------|--------------------|
| 市長            | もり ゆきつぐ<br>森 之嗣    | 副市長      | まへがわ よしひろ<br>前川 嘉宏 |
| 教育長           | か い かずひろ<br>甲斐 和浩  | 総務部長     | え もり こういち<br>江守 耕一 |
| 創造戦略部長        | わたなべ きよひろ<br>渡邊 清宏 | 市民生活部長   | やました つなあき<br>山下 綱章 |
| 健康福祉部長        | やまだ けいこ<br>山田 佳子   | 健康福祉部理事  | みやがわ としひで<br>宮川 利秀 |
| 経済産業部長        | なかじま えいいち<br>中嶋 英一 | 土木部長     | おおみ まさひこ<br>大味 雅彦  |
| 土木部理事         | まつい よしひろ<br>松井 義弘  | 教育部長     | おかだ あきよし<br>岡田 晃昌  |
| 会計管理者         | でじま みずえ<br>出島 瑞恵   | 監査委員事務局長 | つねひろ ゆみ<br>常廣 由美   |
| 芦原温泉上水道財産区管理者 | たかはし けいいち<br>高橋 啓一 |          |                    |

---

事務局職員出席者（3名）

|      |                  |        |                   |
|------|------------------|--------|-------------------|
| 事務局長 | ひがし としゆき<br>東 俊行 | 事務局長補佐 | よしだ さゆり<br>吉田 さゆり |
| 主査   | かがわ たかし<br>鍛川 昂志 |        |                   |

---

---

◎開会

- 事務局長（東 俊行君） ただ今から、令和6年度あわら市子ども議会を開会いたします。開会に先立ちまして、主催者を代表し、毛利あわら市議会議長がご挨拶申し上げます。

（午前9時30分）

---

◎議長あいさつ

- 議長（毛利純雄君） 皆さん、こんにちは。

あわら市議会議長の毛利でございます。

あわら市が誕生してから、今年でちょうど20年が経過してございます。そういうなかで、市議会の新たな試みとして、子ども議会を開催したところでございます。中学生の皆様には夏休み期間中にもかかわらず、いろいろと日程もあったかと思いますが、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、先生をはじめご保護者の皆様方にも大変ご尽力いただきましたことを心より厚く御礼を申し上げたいと思います。また市長をはじめ、理事者の皆様におかれましても、子ども議会の趣旨に賛同していただきまして、ご協力をいただきましたことに御礼を申し上げたいと思います。

子ども議会は、中学生の皆様に議会や市政に対し、理解と関心を持ってもらうとともに、中学生の視点から、あわら市に対する意見や要望を発言していただき、それを市政に反映できたら夢があるのではないかということで、その考えのもとに開催することになったわけでございます。

また、市政について審議する場である、この議場の雰囲気を経験していただく良い機会かとも思っております。

本日は、この子ども議会が中学生の皆様にとって有意義で充実したものになることを、心から願ひまして、一言御挨拶にかえさせていただきます。

---

◎子ども議会開会

- 子ども議長（伊藤悠樹君） ただいまから子ども議会を開会いたします。

本日、議長を務めます、芦原中学校3年、伊藤悠樹です。よろしくお願いいたします。

---

◎質問・答弁

- 子ども議長（伊藤悠樹君） これより、あわら市の将来やまちづくりについて、私たち中学生の視点から、あわら市政に対する一般質問を行います。

---

◇墨谷悠弦君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 通告に従い、1番、墨谷悠弦君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 1番、墨谷悠弦君。

○1番（墨谷悠弦君） 芦原中学校3年墨谷悠弦です。

芦原温泉の水質について質問します。

あわら市は観光名所が多くありますが、その中でも特に有名なものが、芦原温泉と言っても過言ではありません。最近「セントピアあわらでかなり前にレジオネラ菌が検出された」という記事を見ました。そのことにより、1ヶ月ほどセントピアあわらが休業していました。

そこでまた別の施設でこのような菌が発生してしまうと、あわら市の温泉に入ってもえなくなってしまうことも考えられます。

セントピアあわらは3ヶ月に一回の水質検査で発覚しました。定期検査を後少し増やすことを提案します。そして、こまめに清掃することを呼びかけてはいかがでしょうか。すでに対策は行われていると思いますが、あわら市はどのような対策をとっているのでしょうか。教えてください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 皆さん、おはようございます。

大変緊張していると思います。こちらも緊張しています。皆さんの質問にできるだけ丁寧に答えさせていただこうと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、墨谷議員の質問にお答えいたします。

セントピアあわらの衛生管理について、ご提案いただきありがとうございます。

現在、セントピアあわらは、民間事業者のノウハウを活用して、住民サービスの向上を図ることを目的に、民間事業者を指定管理者として施設の管理・運営を委託しております。市はその指定管理者を指導・監督する立場となります。

浴槽水の衛生対策については、指定管理者が法令等の基準に従い、実施しております。

水質検査については、レジオネラ菌の発生の有無を確認するため、外部検査機関に委託して実施しております。なお、菌の検出を受け、営業再開後は、毎月水質検査を行っておりましたが、2カ月連続して菌が検出されなかったことから、通常の3カ月に1度の検査体制に戻しております。

また、浴槽水にはレジオネラ菌の発生を防止するため、常時、塩素消毒を実施し

ております。この塩素消毒により、浴槽水中の塩素濃度が基準値以上になっているか、1日1回以上確認することが義務付けられておりますが、セントピアあわらでは1日4回、従業員が塩素濃度測定を実施することにより確認しております。こちらにも菌検出を受け、1人体制による1日3回の測定から、確認者を2人に増やし、1日4回の測定に変更して実施しております。これについては、現在も継続して行っており、日々の衛生管理に努めております。

また、浴槽の清掃についても、菌検出を受け、浴槽水を排水する前に、浴槽水を高濃度塩素状態にし、ポンプ・配管・浴槽を一定時間循環させるという作業を行い、配管や浴槽のレジオネラ菌の発生を防止しております。

さらに、営業前には従業員による蛇口やイスなどの清掃を行っておりますが、月に1度、清掃専門業者による浴場の壁など、普段はできないような場所の清掃も行うことで、衛生管理には万全を期しております。

墨谷議員がおっしゃるように、再度レジオネラ菌を発生させてしまうと、イメージダウンにより「あわら温泉」へお越しいただく観光客が減少してしまう恐れもありますので、今後、このようなことが無いよう、市としましても、しっかりと指定管理者を指導・監督してまいりたいと考えております。

また、あわら温泉の旅館などの施設に対しては、衛生管理の徹底をお願いしてまいりたいと考えているところでございます。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 1番、墨谷悠弦君。

○1番(墨谷悠弦君) 2つ目にあわら市の施設の増設について質問をします。旅行情報サイト「じゃらん」のあわら温泉のクチコミを見て気づいたことがあります。あわら市にはショッピングセンターや、勝山市にある恐竜博物館のような目立つ建物があまりないので、観光客が楽しめていないようです。

あわら市と比べてお隣の坂井市や加賀市にはアルプラザアミ、ピアゴ、アビオシティ加賀など、有名なショッピングセンターなどが多くあり、福井駅前には恐竜のモニュメントなどがあります。

あわら市にも施設、ショッピングモールのような建物、目立つ建物を増設することを提案します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 市長、森 之嗣君。

○市長(森 之嗣君) あわら市の施設の増設についての質問にお答えをいたします。

まず、ショッピングモールについては、民間事業者が利益を得ることを目的に、事業者が費用を捻出し整備するもので、市で整備することはできません。

しかし、商業施設は人々の生活を便利にし、他の地域に住む人々を街に呼び込むなど、街の魅力アップにつながるため、本市に誘致できないかということで、様々な角度から誘致活動を行っております。

中でも、ある企業と数回、交渉の機会を持つことができ、企業側から市場調査を行ってみるといところまで至ったケースがありました。

しかし、「どれだけの売上を見込めるか調査を行った結果、物価や資材が高騰しているため、黒字を確保することは困難である」とのこと、誘致には至りませんでした。

誘致がなかなか進まないのは、急激な人口減少が想定されている現在、事業者の「掛けた費用を回収できるのか」という不安があると予想されます。

今後とも、行政としてできる最大限の支援を伝えながら粘り強く誘致活動に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、恐竜博物館のような公共施設や、駅前のモニュメントについては、行政が整備するものですので、目立つ建物を建設することは可能であります。

本市も J R 芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」や道の駅「蓮如の里あわら」を整備し、市の P R を含め誘客に取り組んでおります。

建物の建設は、多大な建設費と維持管理費が発生しますので、建設の効果を十分発揮できる施設を慎重に検討してまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 1 番、墨谷悠弦君。

○1 番（墨谷悠弦君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇大南勇人君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、2 番、大南勇人君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 2 番、大南勇人君。

○2 番（大南勇人君） 金津中学校 3 年大南勇人です。

あわら温泉駅前の施設の有効利用について質問いたします。

あわら温泉駅前の街並みは北陸新幹線の延伸に伴い大きく変化してきました。しかし変化した街並みがあることで、シャッターの閉まった店が逆に目立ってしまうようになりました。また芦原温泉駅停車場線沿いの店舗は日中に 3 1 店舗中 1 6 の店舗がシャッターを下ろしていることからシャッター街のように見え、サイトマップのストリートビューで見ても駅前で開いている店はほぼありません。お店側

のご都合もあるかと思われませんが、やはり駅前はその場所の顔のようなものだと思います。そこで新たに施設を増やすのではなく、今あるものを最大限に活用して賑わせたいと考えています。例えば経営を停止している店舗をテナントやレンタルオフィスなどとして貸し出してはいかがでしょうか。このような点についてどのようにお考えか、ご意向をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 大南議員の「新たに施設を増やすのではなく、今あるものを最大限に活用して賑わせたい」との考えは、市としても全く同じ思いであります。

まず、芦原温泉駅前通りの店舗については、新幹線開業に併せ、近年、少しずつですが動きが出ております。

具体的には、市や県の補助金を活用し、飲食店2軒、菓子店1軒がお店の外観を改修したほか、おむすび店、フルーツサンド店、居酒屋の3店舗が空き店舗を解消し、新規創業しております。その他アジア食材店と飲食店が独自に新規創業しております。

市は、芦原温泉駅前の商業エリアの活性化を図るため、補助事業を創設し、店舗兼住宅の空き店舗や空き家等の活用を促進しているところでございます。

加えて、駅前通りの空き店舗や空き家の持ち主にヒアリングを行い、貸出等の意向調査も行っております。

空き店舗等を貸したいとの意向があった場合は、空き店舗情報バンクに登録し、市のホームページで広く情報を公開した上で、空き店舗への出店希望者とのマッチングを実施しております。

現在、空き店舗情報バンクに登録されている駅前通りの空き店舗は3店舗あります。しかし、登録されていない空き店舗もあります。

空き店舗の解消がなかなか進まないのは、「貸す側と借りる側」でそれぞれ大きな理由があります。

貸す側としての理由は、住居として使用しているため、店舗部分のみを他人に貸したくないという思いがあること、借りる側の理由としては、空き店舗の築年数が古すぎるため、改修費が高額になることが挙げられます。

課題は多いですが、今後とも、粘り強く交渉を進め、空き店舗等の所有者と活用希望者とのマッチングを図り、1店舗でも多く空き店舗・空き家の解消に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 2番、大南勇人君。

○2番（大南勇人君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

◇長谷川空輝君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、3番、長谷川空輝君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 3番、長谷川空輝君。

○3番（長谷川空輝君） 芦原中学校3年長谷川空輝です。

熊についての質問をします。

あわら市に住んでいて怖いことがあります。

それは最近熊の目撃情報が多発していることです。森の近くに住んでいる人たちはいつ熊が出るかわかりません。

だから、おりや電気柵などの対策をした方が良くと思います。

おりは簡単に見つかるのではなくあまり熊にも見えないところに設置することを提案します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 経済産業部長、中嶋英一君。

○経済産業部長（中嶋英一君） ただいまのご質問にお答えいたします。ご質問のとおり、今年度は過去に例が無いほど、クマの出没件数が多くなっています。4月から6月末時点で過去最多の70件の出没情報がありました。

これは、昨年度の約3倍の出没件数となっており、親離れした若い個体が、自分のいるべきエリアがどこまでか分からず、ウロウロと出てきている状態であると推測しています。

また、出没場所は市内広範囲に渡っていて、里山の山際で多く目撃されています。

若い個体とはいえ、住宅地近くで出没し、非常に危険であると認識しており、人身被害を未然に防ぐために、現在、檻の設置を行っています。

この檻「はこなわ」は、クマをエサで誘い、捕獲するため、目撃回数が多く、人家から離れた人目に付きにくい、人が近づかない場所を選定して設置しています。

昨年は2基であった檻の数を、今年は4基に数を増やして、出没状況に応じて2週間程度で場所を変えています。

ただ、現在までに捕獲には至っていない状況です。

7月に入り、出没は少し落ち着いてきておりますが、様子を見ながら捕獲は継続して行っています。

次に、ご提案いただいた電気柵ですが、クマの侵入を防止するための電気柵設置

はとても効果的で、イノシシなど他の獣類も同時に退けることができ、非常に良い案だと考えています。

現在、電気柵は主にイノシシのために、市内で総延長約84kmに設置されており、これは、クマを人里から遠ざけるためにも役立っていると考えています。

ただ、春から夏にかけて今の時期のクマの出没は、繁殖期や親離れでの移動であり、出没位置が予想しにくく、また、住宅地近くへの設置については、人が触っただけがをす危険性もあることから、新たな電気柵設置場所を絞ることは困難です。

そのため、市では「クマを寄せ付けない・出会わない対策」として、柿の実や畑の作物の取り残しなど誘因物の除去や、クマ鈴やラジオなど音を鳴らして人の存在を知らせる、明け方・夕方の外出は控える、などを広報で周知するとともに、出没情報の発信、警察や猟友会と協力してパトロール等を行い、被害防止に努めております。

なお、クマ鈴につきましては、県猟友会金津支部、芦原支部より今年800個の寄付を受けております。これにより、市内の小中学校に鈴がいきわたったこととなります。

ただし、今後のこともありますので、来年に向けて様々な効果的で、効果的な方法を考え、実施していかなければならないと考えています。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 3番、長谷川空輝君。

○3番（長谷川空輝君） 2つ目にお祭りの継承問題と少子化問題について質問をします。

前にお祭りに行った時、お祭りの担い手に若い人が少なかったように感じます。

現在、少子高齢化も進んでいますし、このままだとお祭りの継承ができなくなってしまうと思います。最近、SNSでオマツリジャパンサポーターなどの、人材募集が行われているので、そういうのを活用してみてもいいでしょうか。

また、少子高齢化については、配布したグラフを参考にすると、60～70歳が0～10歳と比べて倍以上います。この問題に対しては、移住者を増やすしかないと思います。そのために、移住しやすいように、幼稚園、小学校などの近くにマンションを作ることを提案します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） あわら市内では、各地区において、毎年、お祭りが開催されておりますが、長谷川議員ご指摘のとおり、一部のお祭りについては、お御輿の担ぎ手などの不足が問題になっております。

近年、この担ぎ手不足を解消するために、「芦原温泉春まつり」や「金津まつり」では、地区住民のお知り合いの方や企業、大学生、外国人の方にボランティアを依頼して、10名から20名程度のご協力をいただいております。

一方で、地元の祭りは、地元の人たちで盛り上げようという思いから、担ぎ手のボランティア募集は、もっと人が少なくなったときに取り組もうと話している地区もあると聞いております。

長谷川議員からご意見いただきました「オマツリジャパンサポーター」をはじめ、SNSを活用したボランティア募集は、非常に有効な手段でありますので、今後、このような問題で悩んでいる地区にお話してまいりたいと思います。

ぜひ、中学生の皆さんもチャンスがあれば、お祭りに参加していただきたいと思います。

次に、少子化問題についてのご質問にお答えします。議員ご指摘のとおり、少子高齢化による人口構成の歪みは、あわら市における重大な問題の一つです。

また、少子高齢化に伴う人口減少が原因で、全国的に空き家が増加しており、あわら市も例外ではありません。

「少子高齢化」と「空き家の増加」という問題の解決に向けた対策の一つとして、市では、空き家を活用した子育て世代の移住定住の促進に取り組んでいます。

具体的には、ウェブサイトを通じて、空き家情報を紹介する「空き家情報バンク」に、市内の利活用可能な空き家を登録し、空き家を探している移住者とのマッチングを図っております。

また、登録された空き家を気に入った移住者が、空き家を購入する場合、県外からの移住者に対しては、通常50万円のところ100万円の補助金を交付しております。

さらに、購入した空き家をリフォームする場合についても、通常50万円のところ100万円の補助金を交付しています。

そのほか、東京、大阪、名古屋での移住相談会の開催や、オンラインによる移住相談など、移住を希望される方の相談に対してきめ細やかに応じているところです。

議員ご提案のようなマンションを建設するのも一つの方策だとは思いますが、市が整備する場合、市営住宅として、多くの費用が必要となります。

引き続き、増え続ける空き家を活用し、移住者を呼び込むことで、大きな問題である「少子高齢化」と「空き家」、二つの問題解決に取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 3番、長谷川空輝君。

○3番（長谷川空輝君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

◇小林琉愛君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、4番、小林琉愛君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 4番、小林琉愛君。

○4番（小林琉愛君） 芦原中学校3年小林琉愛です。

芦原温泉春祭りについて質問します。

芦原温泉春祭りについて思うことがあります。毎年行われるこの祭りでは多くの人が訪れており、その多くの人には地元の人だということです。どうすれば地元以外の人にも多く訪れてもらえるでしょうか。

そこで私は、芦原温泉春祭りで地元の食べ物（スイカ、メロン、柿、さつまいも等）を使った屋台を並べることを提案します。地元の食べ物を並べることによって、地元の人にもどんな食べ物を作っているか知ることができ、地元以外の人にもあわらでどういった食べ物を作っているのか知ってもらうことができます。

私も地元で作られている食べ物をあまり知っておらず、食べる機会もないのでとても良い機会になると考えました。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 小林議員ご指摘のとおり、芦原温泉春祭りは、舟津温泉、二面温泉、田中温泉の温泉三区のお薬師さんのお祭りで、毎年、約5,000人が訪れる大きなお祭りです。

地元と地元以外の方がどれだけかという割合までは把握しておりませんが、私も毎年このお祭りに参加し、今年も、子どもから大人まで幅広い年代の方々にお越しいただき、中には、あわら温泉に宿泊されている浴衣姿の観光客が楽しんでいる光景を目にし、大変嬉しく思った次第です。

この春祭りは、あわら温泉を舞台に開催されるお祭りですので、全国から多くの方にお越しいただき、あわら温泉に泊まっていただけのように、市では、インスタグラムやフェイスブックを活用して、「芦湯」や「屋台村湯けむり横丁」などのあわら温泉の魅力とともに、春祭りの情報発信に努めております。

議員ご提案の地元の特産品を屋台で販売することにつきましては、「食べ物が美味しいあわら市」のPRや、来場者や生産者の喜びにつながるとても良い方策だと思いますので、お祭りを主催する温泉三区の方々にご提案させていただきたいと思

ます。

市としましても、あわら市を代表する伝統あるこのお祭りが存続し、次世代に継承されるよう、地元をしっかりと応援するとともに、このお祭りに地元の方はもちろんのこと、多くの観光客にもお越しいただけるよう、今後ともPRに力を入れてまいりたいと思います。

また、春祭りに限らず、あわらの特産品であるスイカ、メロン、柿、さつまいもなど、フルーツをはじめとしたあわらの食の魅力をしっかりとPRしていきたいと思っています。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 4番、小林琉愛君。

○4番(小林琉愛君) 2つ目にあわら市のお祭りについて質問をします。

あわら市のお祭りについて質問させていただきます。

あわら市には、芦原祭りや、金津祭りなどがあると思いますが、そこで、私は気になることがありました。それはゴミのポイ捨てです。私も今年、祭りに行ったのですが、ポイ捨てをしている人が沢山いました。中には、屋台の後ろに隠れてまでゴミをポイ捨てする人や、側溝の蓋の間に捨てている人も見ました。恐らく、ゴミ箱があまり設置されていないことや、ゴミ袋を持っていない人が多いことが原因だと思います。

そこで、私は解決策を考えました。祭りに来た人にゴミ袋を渡せばポイ捨てする人も減るのではないかと思います。もしくは、ゴミ箱をもっと多く設置すれば解決するのではと考えました。これらのことを検討してほしいです。参考までに、ゴミ袋は1000枚一万円ほどです。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 市民生活部長、山下綱章君。

○市民生活部長(山下綱章君) 貴重なご意見とご提案をいただき、ありがとうございます。

祭りのときのポイ捨ては、とても大きな問題だと認識しております。

これまでの例で申し上げますと、金津祭りでは、金津小学校の児童が、段ボールで制作したゴミ箱を会場内に設置してくださったほか、地元の方や金津高校の生徒が、祭りの前後に街なかのゴミ拾いや清掃をしてくださるなど、率先して、地域を綺麗にしてくださる活動に取り組んでいただいております、大変感謝しております。

小林議員ご提案のゴミ袋の手渡しやゴミ箱の増設につきましては、祭りを主催する地元の皆さんとも十分に協議し、解決に努めてまいりたいと思います。

しかしながら、課題解決には、人手のいる話になりますので、中学生の皆さんも、

このような現場を見かけた際には、お力添えをいただくと大変ありがたく思います。

皆さんの自主的な活動をお待ちしております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 4番、小林琉愛君。

○4番(小林琉愛君) これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇土岐蕾玖君

○子ども議長(伊藤悠樹君) 続きまして、通告に従い、5番、土岐蕾玖君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 5番、土岐蕾玖君。

○5番(土岐蕾玖君) 金津中学校3年土岐蕾玖です。

あわら市の観光について質問いたします。あわら市観光白書の資料によると、コロナの影響もあり、令和元年から令和3年にかけて、約60万人の観光客が減少していることが分かりました。特に外国人観光客が少なく、令和元年は約15,000人でしたが、令和2年には、約3,000人に落ち込み、さらに令和3年には、9人に減少しました。そこで私は、外国人観光客を増やすために、外国人向けの観光サイトを作ることを提案します。具体的には、きららの丘や宮谷の石切場などのまだあまり知られていない観光地を広め、世界に発信したいと考えました。そのサイトをネット上に記載したり、たくさんの外国人観光客の方々がアクセスできるように、駅前や店前など人通りの多いところにそのQRコードを設置したりしたいと思いました。そして、外国人の方々に福井の魅力を発信し、興味をもってもらい、そして外国人観光客が増えるといいと思います。市のご意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 副市長、前川嘉宏君。

○副市長(前川嘉宏君) 大変目の付け所の良いご質問だと思います。ありがとうございます。

土岐議員ご指摘のとおり、訪日外国人の旅行、いわゆる、インバウンドにつきましては、令和元年末から流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、政府による日本への入国制限や、多くの国・地域で海外渡航制限などの措置が取られ、非常に厳しい状況に陥りました。

ようやくコロナ禍が明け、昨年のインバウンド客があわら市で約1万1千人と、コロナ禍前の令和元年比で72%まで回復し、少し安心しているところです。

議員ご提案の外国人向けの観光サイトにつきましては、あわら市観光協会や福井県観光連盟のホームページで、英語、中国語、韓国語など、主要言語に対応したものを制作し、世界に向けた観光PRを行っているところです。

実は、外国人の旅行の多くは、日本に来てから観光情報を入手するというより、旅行の計画段階で行き先を決めることが主流となっています。

そのため、最近では、インバウンド向けの観光素材として、「宮谷石切場跡の散策」や「金津創作の森、IKOSSAでの創作体験」、「芸妓さん、舞子さんの変身体験」などを盛り込んだ旅行プランを作り、海外の有名旅行サイトに掲載することで、観光客の呼び込みを行ったりもしています。

しかしながら、日本の小さな県の小さなまちでございますので、すぐには結果が出ないのも事実であります。

まずは、このような取組みを粘り強く継続すること、そして、あわら市の観光地だけではなくて、近くの市町と協力して、たとえば東尋坊や永平寺、県立恐竜博物館などと一緒にPRしていくことが大事だと考えております。

また、議員ご提案の街なかにQRコードを設置することにつきましても、大変効果的なアイデアでありますので、観光施設の案内看板などに掲載するなど、今後いろいろなところで取り入れてまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 5番、土岐蕾玖君。

○5番（土岐蕾玖君） 2つ目にあわら市の人口が減少傾向にあることについて質問します。

あわら市では2,000年から今までで約5,000人もの人口が減少しています。インターネットで人口減少の原因について調べてみると、出生率の減少が人口減少の原因といわれています。あわら市として、この少子化の問題をどう解決していきますか。私は、出生率の減少の原因として、子育てにかかる費用、特に食費、保険に対して若い世代の人たちの収入では賄いきれないお金がかかることも大きな原因の一つだと考えます。補助金について調べてみると子育て応援事業で5万円補助金をもらえると書いてあります。妊娠期から子育て期における出産育児関連用品の購入には、かなりの金額が必要であり、補助金の額は多いほどありがたいものです。そこで提案ですが、子育てで貰える補助金を倍額の10万円に増やしてはどうでしょうか。子育てにかかる費用面での負担が減れば、若い世代の人たちが安心して子どもを産めるようになり、あわら市の人口減少に歯止めをかけることができると思います。市の意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 市の人口減少を食い止めるための方策について、お答えをいたします。

あわら市の昨年度の出生数は139人で、2,000年の265人と比べ、マイナス126人と大きく減少しております。こうした中、市では、最も重要な問題である人口減少問題に対して、総力を挙げて取り組んでいるところです。

土岐議員の提案された子育て応援事業については、出産後に出生届を提出した方に、「子育て応援手当」として5万円を支給していますが、妊娠が分かり妊娠届を提出した際にも、「出産応援手当」として5万円を支給し、合計10万円を既に支給しております。

さらに、お子さんが満1歳の誕生日を迎えた際には「あわらっこファーストバースデイお祝金」として、3万円を支給しております。

このほか、児童手当制度があります。現在、中学3年生までの児童を養育している方に、毎月子ども一人につき5千円から1万5千円が支給されております。

今年10月からは、この児童手当が最大3万円へ増額され、支給対象も18歳までに拡充いたします。

また、妊娠してから出産するまでの医療機関での健康診断、生まれた後の子どもの健康診断や予防接種、18歳までの医療費についても全て無料としています。

さらに、3歳未満の一部の子どもを除く、こども園料の無料化や、小中学校の学校給食費の半額支援にも取り組んでいるところでございます。

一方、人口減少の要因には、大学進学や就職・結婚を機に県外や市外に転出することや、結婚をしない人の増加など、様々な要因が挙げられます。

あわら市では、人口減少の課題を解決するため、議員からご提案のあった金銭支援の拡充を含め、暮らしやすいまちづくり、企業や商業施設の誘致など様々な施策を進め、今後も、若い人たちが、このあわら市に住み、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えていきたいと考えております。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 5番、土岐蕾玖君。

○5番（土岐蕾玖君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇吉村健弘君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、6番、吉村健弘君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 6番、吉村健弘君。

○6番（吉村健弘君） 金津中学校3年吉村健弘です。

あわら市と、tabiwa by WESTER について質問します。旅先の情報、お得なチケット・切符の購入が行える JR 西日本のとても便利なサイト、tabiwa by WESTER というものがあります。以下 tabiwa と省略いたします。これを見てみると、JR 西日本管内のお得なフリー切符や、モデルコースなどが見受けられます。この中には、お隣石川県の金沢や、福井を巡るモデルコースが出てきます。ですが、見ているとその中にあわら市、芦原温泉をコースの中に練り込んだものがたった一つしかありません。そこで提案ですが、tabiwa とあわら市が手を結び、新たなモデルコースを作るのはどうでしょうか。たとえば、今年開通した北陸新幹線で芦原温泉駅まで来てもらい、そこから東尋坊、永平寺や吉崎などといった近隣の観光地を巡り、芦原温泉で一泊して帰るといったようなコースが出来上がります。また、あわら市としても tabiwa 利用者以外にも新幹線であわら市まで来たお客様には少しお得なサービスをするなどすれば良いのではないのでしょうか。例えば、JR 西日本ユーザーならば貯めた WESTER ポイントを使うと、お土産が安くなったり、そうでない人たちも、JRE ポイントの活用、きっぷの写真やチケットレスなら画面を見せると、ドリンク一杯サービスなどをすれば良いと思います。そうすれば、今、新幹線開業により増えている首都圏からの新たなニーズを確保しつつ、新幹線開業に伴い減っていくと見られている元々からある関西圏のニーズも増やしていけると考えられます。ですが、新幹線開業によって関西からあわら市に来る時間が短縮されているのにも関わらず、なぜかあまり良くないイメージを持たれている敦賀駅での乗り換えの問題も、それ以上のイメージを持ってれば、払拭できるでしょう。僕が二、三度体験した感想としてもあまり苦ではないので、簡単に払拭できると思います。tabiwa を使う人は関西圏の人が多いです。このことから、今まであわらの一大顧客だった関西圏に加え、今回の開業で金沢から福井まで伸びてきている首都圏の顧客を足せば、今までの倍以上の人が来ることになるでしょう。このように、tabiwa を駆使して、新たな観光の「かたち」のひとつとして誘客に繋がればよいと思いますが、市の考えを聞かせてください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） まずは、この質問については、大変詳細にお調べいただいて、素晴らしい内容だと思います。

北陸新幹線芦原温泉駅が開業したことで、特に首都圏からの観光客が乗り換えなしであわら市までお越しいただくことが可能になり、利便性が非常に向上したと考

えております。

市では、新幹線開業効果に甘んじることなく、積極的な観光誘客を図るため、吉村議員がおっしゃる JR 西日本が運営するアプリ「WESTER」と連携し、昨年度から実証実験として事業を進めているところです。

現在、「WESTER」では、「まちつなぎ」という市独自の PR ページを設けて、観光情報や二次交通の情報発信は行っておりますが、議員がおっしゃる「tabiwa」内にも「あわら温泉」と近隣の観光地を組み合わせたモデルコースを複数掲載できないか、JR 西日本に働きかけてまいりたいと思います。

次に、新幹線であわら市に来られたお客様に tabiwa が提供するお土産の割引クーポンのようなサービスを、tabiwa 利用者以外にもあわら市独自のサービスとして提供してはどうかというご提案ですが、これについては、まずは、セントピアあわらや金津創作の森、道の駅「蓮如の里あわら」などの公共施設で導入が可能か検討してまいりたいと思います。

例えば、セントピアあわらなら入浴料金の割引き、金津創作の森なら記念グッズの進呈など、お客様にとってあわら市に来たい、来て良かったと思ってもらえるようなサービスを提供できたらと思います。

これらにより、首都圏の観光客のさらなる増加、さらには関西圏のニーズの維持・向上に向け、情報発信を強化し、観光誘客に努めてまいりたいと考えておるところでございます。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 6 番、吉村健弘君。

○6 番（吉村健弘君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇安父芽衣君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、7 番、安父芽衣君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 7 番、安父芽衣君。

○7 番（安父芽衣君） 金津中学校 3 年安父芽衣です。

金津本陣 IKOSSA について質問します。金津本陣 IKOSSA は本の貸し借りだけではなく、学生が自習としても利用できるなど様々な世代の方の憩いの場となっています。私は、IKOSSA に、本を読みながらや勉強の合間に休憩できるカフェを設置することを提案します。

敦賀駅前に図書館とカフェが一緒になった「TSURUGA BOOKS & COMMONS

ちえなみき」があります。2022年9月の開業からわずか3ヶ月で来場者数10万人、1年で30万人を突破し大きな話題となりました。市民からも休憩しながら本を読むことができるととても便利だと好評な声があがっています。

私が自習スペースを利用した際、昼食をとるために外出した学生を見たことがあります。外出することで、金津本陣 IKOSSA の利用時間が減ってしまいます。そこで、カフェを設置することで手間を省くことができ、より快適に当施設を利用でき、利用者の満足度も高まると考えました。

カフェを併設する際、留意しなければならないことがあります。本を読みながら食事をすると本が汚れてしまう可能性があるということです。この問題を解決するために、次の2つの対策が必要であると考えました。1つ目は、本を持つ手を汚さない工夫です。例えば、冷たい飲み物を入れたコップには水滴がつき、そのコップを持つと手が濡れてしまいます。そこで、飲み物を保冷するコップを利用することでコップに水滴がつくことを防ぎ、手が濡れなくなります。2つ目は本を汚さないように貼り紙を壁に貼ることです。カフェを利用したお客さんの本を大切にしようという意識が高まり、このような問題を防ぐことができると考えました。

IKOSSA のカフェの併設と、設置に伴う問題の解決策について、市の考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） いろいろとご提案いただきましてありがとうございます。

「ちえなみき」をはじめとする書店とカフェを融合した営業形態は、全国的に人気を博しておりますが、安父議員ご提案の金津本陣 IKOSSA にカフェを設置するためには、カフェを運営し、飲食物を提供する民間事業者の存在が必要です。

この場合、売り上げがスタッフの人件費や材料費、光熱費等の必要経費を上回り、利益を上げることができかどうか民間事業者出店の判断基準となります。これまでも何度かキッチンカーが IKOSSA の正面玄関前で営業を行いました。思うように利益が上がらなかったようで、現在は出店希望者がいない状況です。

このことから、カフェの設置につきましては、他の施設も含め、市全体の公共施設の在り方や、より良い施設づくりを考える上での検討材料に生かしていきたいと考えています。

また、併せて、本を汚さず大切にご利用いただくためのご提案をくださり、非常に嬉しく感じております。IKOSSA の1階ロビーでは飲食ができますので、カフェの有無にかかわらず、大事なご提案だと思えます。

図書館の蔵書は、税金で購入させていただいた市民共有の貴重な財産です。その

中には、二度と手に入らない絶版本や郷土資料もあります。これらを大切に後世に受け継いでいけるよう、ロビーに貼り紙を掲示するなどして、しっかりと管理していきたいと思います。

IKOSSA は、1階に図書館、2階に郷土歴史資料館、3階に市民文化研修センターが配置された学びの拠点であり、この名前には「人が誘い合って集う場所になるように」との願いが込められています。これからも多くの方に快適に利用していただけるよう、環境の整備に取り組んでまいります。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 7番、安父芽衣君。

○7番（安父芽衣君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇東出実依君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、8番、東出実依君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 8番、東出実依君。

○8番（東出実依君） 芦原中学校3年東出実依です。

体育館の空調整備について質問をします。

私は学校生活のなかで思うことがあります。

それは体育や集会の時に体育館がとても暑いということです。集会のときは暑くて話が入ってこないことがあります。現在のあわら市内の体育館には空調設備が整備されているところがありません。

しかしお隣の坂井市では2025年度内に市内全ての中学校体育館に空調設備を導入する方針を固めています。

最近では熱中症になる人が増えてきているので、ぜひあわら市での導入を検討して欲しいです。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 近年は、日中の気温が30度を超える真夏日となる日が頻繁に発生しており、さらには気温35度を超える猛暑日となることもあるなど、授業などで体育館を利用するには、とても厳しい環境となることを心配しておりました。

また、今年1月に発生しました能登半島地震の状況を見て、避難所としての体育館の環境整備の重要性を感じたところでございます。

そこで、特に中学校では夏休みには部活動で体育館を利用することもあり、芦原

中学校と金津中学校の体育館の空調設備を導入することを決定し、その準備に必要な予算を先月計上したところです。

来年度には、空調設備の整備費用として、両校あわせて2億円を超える予算が必要となりますが、東出議員が自らの経験から、体育館への空調設備整備の必要性を感じておられるということで、空調設備を整備するという今回の私の判断は間違っていなかったと安心いたしました。

なお、本年度は、空調設備の整備に向けた調査と設計を実施し、来年度中に工事を行うこととなりますので、空調設備を利用できるのは再来年の令和8年度からになる予定です。

東出議員の在学中には整備が間に合わず、空調が利用できるのは2学年下の生徒の皆さんからとなりますことは、ご容赦いただきたいなと思います。

また、今後、実際に工事を行う際には、できるだけ体育の授業や部活動等に支障のないようにしていきたいと考えていますが、少なからず体育館の使用に支障が生じ、ご迷惑をおかけすることもあると思いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 8番、東出実依君。

○8番（東出実依君） 2つ目にタブレットの使用問題について質問をします。

芦原中学校で生活していて気づくことがあります。

それはタブレットの使用問題です。タブレットは学習で使う場面が多いですが、休み時間や授業中に学習ではないことに使っていたりするというのを耳にします。

その対策として、AIを活用して、生徒のタブレットをトラッキングし、学習に関係のないサイトへのアクセスを制限することを提案します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 教育長、甲斐和浩君。

○教育長（甲斐和浩君） 東出議員をはじめ、生徒の皆さんが学校では十分にタブレットを活用している様子が伺え、とてもうれしく思います。

しかし、一部に不適切な活用があるとお聞きし、少し気掛かりに感じました。

現在、学校で使用しているタブレットの制限方法は、特定のキーワードやカテゴリのほか、人の手でURLを直接設定するフィルタリングの手法によりまして、学習に関係のないサイトへのアクセスをブロックする仕組みとなっております。

ご提案いただいたAIを活用したアクセス制限は、技術的には可能ですが、現在は海外のシステムがほとんどで、残念ながら日本での導入事例を見つけることができませんでした。

今後、日本国内で普及した時点であらためて導入を検討したいと思います。

ただ、A I の判断が 1 0 0 % 正確であるという保証がなく、学習に支障が生じる可能性もあります。

また、制限を強めることによって、自由な発想や学習意欲がそがれることにもつながりかねないと考えております。

教育委員会としましては、生徒の皆さんの好奇心や可能性を狭めてしまう恐れがないよう、いたずらに制限をかけずに、この課題を解決できないかと考えております。

例えば、東出議員が問題としておられる「タブレットの使用状況」について、学校のクラス単位で話し合う時間を設けてはどうでしょうか。

情報モラルの一つとして、タブレット活用のあり方について生徒全体で話し合い、A I に規制されるのではなく、自ら規制するそんな方法を考えることも大切ではないかと思えます。いかがでしょうか。

これからのあわら市を担っていくデジタル人材の育成に向けて、自由な利用を妨げないこと、また、不適切な利用には制限をかけていく、その両方を目指して今後取り組んでいきたいと思えます。

どうぞ今後とも一緒に考えていきましょう。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 8番、東出実依君。

○8番(東出実依君) これで質問を終わります。ありがとうございました。

○子ども議長(伊藤悠樹君) 暫時休憩をします。再開は午前10時50分です。

(午前10時35分)

---

(午前10時48分)

#### ◇亀井まひる君

○子ども議長(伊藤悠樹君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。続きまして、通告に従い、9番、亀井まひる君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 9番、亀井まひる君。

○9番(亀井まひる君) 金津中学校3年亀井まひるです。

トリムパークの環境改善について質問をします。

トリムパークについて提案します。私はテニスをしているため、いつもトリムパークのテニスコートを利用させていただいています。しかし、テニスコートまわりのフェンスから木がはみ出るほど生い茂っていたり、蜂の巣が出来るほど虫が多か

ったりします。最近では、熊やイノシシが近隣で出没するなどの危険もあります。遊具や散歩コースなどもあるにも関わらず、安全とは言えない状況です。そこで、生い茂っている木の伐採や、除草を行うのはどうでしょうか。例えば、「市民ボランティアを募り、土日に除草作業を行う」ことや「トリムパークを利用する方に奉仕作業をお願いする」などを行うことで、利用者も普段使っている施設への感謝を表す機会になり、より大切に使用してもらえるようになることを期待できます。私もそのような機会があったら利用させていただいているトリムパークを綺麗にしたいと思参加したいです。そして、今よりも更に綺麗で安全に過ごせるトリムパークになり、地域の方だけでなく県外の方たちにも沢山訪れてもらえると思います。市の考えをお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） いつもトリムパークをご利用いただきましてありがとうございます。ご存じのように、トリムパークかなづは、テニスコートや弓道場、多目的グラウンドや屋根付きのゲートボール場、バスケットボールや多目的体育館など、様々なスポーツを楽しむことができる施設でございます。また、子どもが楽しめる遊具広場や、自然と触れ合えるビオトープ、和風庭園など子どもから大人までゆっくり過ごせる施設でもあります。

敷地総面積は約20ヘクタールで、東京ドーム約4個分の広さになります。広大な敷地がゆえに管理も大変になります。

敷地内の樹木の剪定や除草作業については、職員3名による日常管理に加え、シルバー人材センターや造園業者にも委託しながら行っています。この作業は、年間で計画的に行っていますが、皆さんが利用される時期や場所によっては、雑草等の伸びている状況が目につくこともあるのが現状でございます。

このような中、亀井議員ご提案の市民ボランティアを募っての除草作業や、利用者による奉仕作業については、市としても願ってもないお話であります。これまでも近隣の山室地区には毎年樹木の伐採をしていただいておりますが、市民ボランティアが加われば整備が進むと考えられます。地域や利用者の皆さんの施設に対する愛着を育むことにも繋がることから、今後検討させていただきたいと思います。

いずれにしましても、トリムパークかなづは、あわら市のみならず、他市町や県外からもご利用のある、市を代表する施設のひとつでございます。より快適に、より安全にご利用いただけるよう知恵を絞りながら努力してまいりたいと思います。今後も新たな提案がありましたら、ぜひお聞かせいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 9番、亀井まひる君。

○9番（亀井まひる君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇牧野莉央君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、10番、牧野莉央君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 10番、牧野莉央君。

○10番（牧野莉央君） 金津中学校3年牧野莉央です。

駅東地区在住の金津小学校の児童の通学路について質問をします。

駅東地区在住の金津小学校の児童は駅構内が通学路となっています。私もこの地区在住で小学生の頃に駅構内を通学路として使っていました。駅構内を通行することは、一見多くの人目があり、安全が確保されていると思いますが、新幹線が開通し今まで以上に駅を利用する人が増えた今、不特定多数の人が駅構内を通行するため、登下校時の安全が確保されているとは思えません。実際にあった事案では、2019年5月9日にあった男子児童に対する声掛け事案や、2018年8月3日にあった女子児童に対する声掛け事案など他にも様々あります。そこで私は駅構内を通行する児童を見守り隊の方々に見守っていただくのがいいと考えました。見守り隊の方々がいるときもあるのですが、毎日ではなく、また見守っている場所も通学路となっている駅構内から離れているので、子どもたちが安全に登下校できないのではないかと不安になることがあります。提案ですが、毎日見守り隊の方々に登下校時に、通学路となっている駅構内を見守っていただくのはどうでしょうか。児童やその親が安心して通学可能な通路を作るのがよいと考えますが、市の考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 教育部長、岡田晃昌君。

○教育部長（岡田晃昌君） 子どもの安全を思いやるご質問をいただき、ありがとうございます。

市では通学路における子どもたちの安全を確保するため、学校が取りまとめた危険箇所のリストをもとに、毎年、学校管理者と警察との合同点検を実施し、現場の確認と対策の検討を行っているところでございます。

特に、登下校時に子どもたちが犯罪に巻き込まれないようにするためには、子どもたちが一人で歩く「一人区間」や人の目が届かない区間などの「見守りの空白地

帯」を作らないことが必要であり、「人の目」や防犯カメラの「機械の目」に加えて、「地域の目」を確保することが大変重要でございます。

牧野議員がご指摘されました北陸新幹線芦原温泉駅構内の通路は、一定の人の往来があることから「人の目」は確保されています。また、普段から少年愛護センター職員や補導員、警察官等がパトロールを行っておりまして、これに加えて防犯カメラ7台が設置され、「人の目」と「機械の目」の両方からの対策が取られています。

「地域の目」としては、週1回のPTAによる見守りと、週2回の老人クラブによる駅東口交差点における見守り活動が行われています。

ご提案いただきました、毎日の駅構内における見守りにつきましては、「人の目」と「機械の目」に加えて、「地域の目」を更に強化することに繋がりますので、見守り隊の駅構内への配置が可能か、今後協議していきたいと思っております。

加えまして、学校での防犯教室等におきまして、「知らない人にはついていかない」「知らない人の車にのらない」「おおごえを出す」「すぐ逃げる」「何かあったらすぐ知らせる」の、いわゆる「いかのおすし」の徹底など、危険予測や危険回避に関する学習を改めて行うなど、登下校時の子どもたちの安全確保に努めてまいりたいと思っております。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 10番、牧野莉央君。

○10番（牧野莉央君） 2つ目にあわら市の街灯について質問をします。

駅前では街灯がありますが、駅を離れると街灯が少なく交通事故や、クマなどの動物被害があり、とても危険だと感じる時があります。例えば、金津中学校の裏のBG体育館の近くの横断歩道は街灯があるものの夜になるととても暗いので、危険です。他にも、金津中学校から日の出区に向かう道では、街灯が少なく道路全体が見えづらく、もしクマなどがいても、気づかない可能性があります。現在あわら市内では、約450件の交通事故が起こっており、約530人の人が負傷しています。そこで提案なのですが、あわら市の街灯をもう少し増やしてはどうでしょうか。街灯が増えることで、あわら市の事故が減るかもしれません。市の考えをお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森之嗣君。

○市長（森之嗣君） 大変細かいご指摘をいただきましてありがとうございます。

街灯の種類には、道路照明灯、防犯灯、街路灯の主に3つに分けられております。

まず、道路照明灯は、道路の安全や円滑な交通を目的に、県や市などの道路管理者が「道路照明施設設置基準」に基づき、視界の確保が困難で危険な交差点や道路

が狭くなる橋などに設置しています。

次に、防犯灯は、夜間の歩行者の安全確保や地域の防犯を目的に、各地区が地域内に設置しており、市では設置に係る費用の一部を各地区に補助し、防犯灯の設置を推進しています。

最後に、街路灯は、観光客や買い物客の安全性確保や賑わい創出を目的に、温泉街や商店街に設置されており、観光協会や各地区が管理をしています。

夜間に交通事故が発生した箇所については、現場検証を行い、警察と協議のうえ、道路照明灯などの交通安全対策を検討してまいります。

また、牧野議員ご指摘のB & G体育館近くの横断歩道など歩行者や交通量の多い箇所につきましては、点検を行い、必要に応じて対策を行ってまいります。

防犯灯についても、先ほど答弁しました補助制度を活用し、過去3ヶ年の状況としましては、令和3年度に20基、令和4年度に56基、令和5年度に29基、合計105基の防犯灯が設置されています。

引き続き、交通安全や防犯対策に向け、関係機関や各地区と連携し、安全で安心なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 10番、牧野莉央君。

○10番（牧野莉央君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇松村琥太郎君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、11番、松村琥太郎君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 11番、松村琥太郎君。

○11番（松村琥太郎君） 芦原中学校3年松村琥太郎です。

あわら市街の縁石やブロックについて質問をします。

あわら市に住んで最近思うことがあります。それは道路横にある、歩道と車道を分けるための縁石やブロックの高さが低いことです。

あわら湯のまち駅付近のブロックは、車のタイヤの下半分に届くか届かないかぐらいの高さしかありません。そして近年、他県で車が歩道に乗り上げる事故が多発しています。

このことから私は、万が一車がブロックにぶつかった際、今のブロックの高さでは歩道に乗り上げて事故が起きるのではないかと考えています。

その上、高齢者の運転免許保有者数が全国で増加しています。高齢者は体力や認

知力が大人より衰えているので交通事故を起こしやすいです。

そこで私は、交通事故を未然に防ぎあわら市を安全に過ごせる住みやすいまちにするために、縁石やブロックの高さを車のタイヤの半分よりも高い高さにかさあげすることを提案します。この案に対して、ぜひ市の考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 土木部長、大味雅彦君。

○土木部長（大味雅彦君） 市民の安全を思いやる、よい質問をしていただきありがとうございます。

先ほどの質問にお答えいたします。

歩道と車道を分けるための縁石の高さは、国土交通省が定めた「歩道の一般的構造に関する基準」に基づいて、一般的に15センチにしております。

特に、国道や県道、その幹線道路や橋・トンネルの区間内では、安全確保のため25センチまで高くすることができます。

松村議員のおっしゃる、あわら湯のまち駅付近の縁石は、高さ15センチで、この基準に基づいて作られています。

この縁石の高さの根拠は、車両が縁石に衝突した際に、正常な進行方向へ誘導する効果といった交通安全上の観点と、商店街などで歩行者が容易に縁石をまたげることや、歩道沿いに車を止めてドアを開けても、ドアが縁石に当たらないなどといった観点から決定されています。

なお、平成19年4月に国土交通省が公開した「車両用防護柵設置に関する検討委員会の報告書」によると、15センチの縁石に乗用車が衝突したとしても通常の運転状況であれば、歩道への乗上げを抑制されることが確認されています。

ただし、交通量の多い交差点では、歩道への乗上げ防止のため、車両用防護柵や車止めも併せて設置しております。

この車両用防護柵等は、歩行者の保護には効果的ではあるものの、運転手の視界の妨げや除雪作業に支障となることから、設置には十分な調査が必要です。

一方、交通安全啓発活動として、市では、あわら警察署をはじめ、各交通安全団体と共同で交通安全教室や運転者講習会を開催しております。

さらに、近年増加する高齢運転者事故の未然防止対策として、運転免許の自主返納の促進を図るため、あわら警察署と市が連携し、高齢者の相談に応じています。

運転免許を返納した方に対しては、市内全域の移動が可能な乗合タクシーの利用料金を100円割り引くなど促進を図っております。

今後も、多角的な視点から交通事故の未然防止を図り、交通安全対策に取り組んでまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 11番、松村琥太郎君。

○11番(松村琥太郎君) 2つ目にアフレアのイベントについて質問をします。

あわら市を盛り上げるために現在アフレアではたくさんイベントを開催しています。

ですが、私がイベントに行ったとき、人があまりいないと感じました。

なのでアフレアのホームページやチラシで情報を発信するだけではなく、誰でも目に入るテレビのCMで、情報を発信した方がたくさんの人にイベントのことを知ってもらえると思いました。

この案に対して市のお考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 市長、森之嗣君。

○市長(森之嗣君) アフレアへのご提案ありがとうございます。

アフレアでは、毎月1回程度、施設を管理運営する一般社団法人アフレアが、「食べ物」や「スポーツ」、「お笑い」など、様々なジャンルをテーマにした賑わいイベントを開催しております。

令和5年3月にアフレアがオープンして、これまで最も来場者が多いイベントは、今年1月に開催した「新春もちもちランド」で、2日間で13,600人の集客がありました。

アフレアでは、多くの方にイベントを楽しんでもらうために、小さな子どもがいる「ファミリー向け」、10代、20代といった「若者向け」など、イベントによってターゲット層を変えています。

松村議員ご指摘のとおり、情報発信の手法として、テレビCMは、多くの人の目に触れ、集客効果が高いことから、これまで市が主催して開催しました「新幹線開業半年前イベント」や「開業当日イベント」などの記念イベントで活用してまいりました。

一方で、テレビCMを放送する費用が、他の手法に比べ、非常に高いこともあり、毎月のアフレアイベントでは、なるべく費用のかからないやり方で広報を行うように心掛けています。

例えば、「もちもちランド」では、県内の全ての保育所やこども園にイベントチラシを配布して、テレビCMと同等の来場者を集めるなど、ターゲットを絞った呼びかけを行っております。

今後も、イベントの内容や費用対効果を検証しながら、情報発信に努めたいと思います。

また、アフレアでは、定例のイベントを、毎月第3土曜日・日曜日に決めて、開催するようにしております。

まだアフレアがオープンして、1年半足らずです。市民の皆さんに定着していない部分もありますが、この先、この毎月第3土曜日・日曜日のイベント開催が皆さんに浸透していけば、より多くの集客に結び付くものと期待しているところでございます。

なお、アフレア主催のイベントの他にも、貸館事業として市民団体やイベントプレイヤーなど、様々な方がアフレアホールやアフレア広場を利用して、イベントを実施しております。

議員がどのイベントに参加されたかは分かりませんが、時間帯によって少ないときもあれば、特に貸館事業では、規模の小さなイベントが開催されることもありますので、その点ご理解いただけたらありがたく思います。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 11番、松村琥太郎君。

○11番(松村琥太郎君) これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇木田早耶乃君

○子ども議長(伊藤悠樹君) 続きまして、通告に従い、12番、木田早耶乃君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 12番、木田早耶乃君。

○12番(木田早耶乃君) 金津中学校3年木田早耶乃です。

あわら市のアフレアで開催されるイベントについて、質問します。昨年設立されたアフレアは、1ヶ月に1回程度の頻度でイベントが開かれています。イベントは、1ヶ月で約7,000人から8,000人、年間で約85,000人のお客さんが訪れています。私も何回かアフレアのイベントに行ったことがあるのですが、そのイベントでは行列ができるほどのお客さんが来ていました。しかし、イベントがない平日では、たくさんの学生の方々がアフレアを占領しているといった状況があります。私は、観光客にも毎日アフレアを楽しんでもらいたいです。そこで提案ですが、毎日3つから5つの屋台を建て、あわら市を訪れる観光客の方々や市の住民などに販売してはどうでしょうか。屋台は金津祭りに建っているようなもので、場所はアフレアの外です。商品は、あわら市の特産物やその特産物を使ったアレンジ商品です。あわら市の代表的な特産物の富津金時を例とします。秋が旬の富津金時を使って、アフレアの外でそのまま焼く焼きいもや大学いも、さらに富津金時の甘露

煮(かんろに)や心から温まる富津金時の味噌汁など富津金時のアレンジ商品だけでもこんなにも幅広いレシピが挙げられます。これらを屋台に並べて販売する、という感じです。その特産物をアフレアで販売し、観光客の方々が美味しいと思っていたら、特産物をメインにしている店にもたくさんの観光客が訪れると、私は考えます。また、自動販売機の中身をジュースではなく、スイートポテトなどあわら市のお店で商品化している食べ物を入れ、自動販売機型式で販売することを提案します。自動販売機だと時間に関係なくいつでも買うことができるため、観光客の方もスムーズに買いやすくなると私は考えます。毎日のように屋台があり、自動販売機型式で販売している商品があれば、アフレアに訪れる方が学生だけでなく、たくさんのお客さんや観光客でにぎわうと考えるのですが、市の考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 市長、森 之嗣君。

○市長(森 之嗣君) 特産品を活用したアフレアの毎日の賑わい創出についてのご提案につきまして、とてもワクワクしながら聴かせていただきました。

観光客の方も住民の方もアフレアに足を運びたくなり、さらには、特産品を作る生産者の方の喜ぶ顔が目浮かぶようなユニークなアイデアがたくさん詰まったご提案だったと思います。

アフレアで開催する週末イベントには、毎回市内だけでなく、市外からも多くの店舗の方に来店いただいております。

特に、季節ごとに開催する「フルーツパーラー」のイベントでは、夏は「メロン」や「スイカ」、春には「いちご」など、店舗ごとに、あわら自慢の旬のフルーツを使った特色あるオリジナル商品が立ち並びます。

一方で、イベントのない平日におきましても、月に数回、アフレア広場にキッチンカーが出店し、フルーツパフェやアイスクリームなどを販売しておりますが、あわら市にお越しただく観光客やアフレアの利用者の状況を見ますと、平日と週末とで2倍から3倍以上の人数差があります。利益の追求が求められる商売の都合上、週末やイベント時に来店が集中することは致し方ないことだと思います。

とはいえ、今回いただいた、木田議員のご提案をテーマに、キッチンカーや屋台を営業しておられる店舗の皆さんとも一度話し合っ、例えば、月に一度、もしくは週に一度の平日に、定期的にマルシェのようなイベントができないか検討したいと思います。

また、特産品の自動販売機ではありませんが、アフレア2階の「ふくいミゅ〜ジアム」に「あわら観光マッチングガチャ」というものを設置しております。

この「あわらガチャ」は、市内のまちづくり団体「一般社団法人MYNK S」が制作したもので、ガチャガチャから出たカプセルに入っているQRコードを読み込むと、市内の知られざる飲食店や観光スポットを、実際にそこを訪れた市民が、市民目線で楽しく動画で紹介するという企画です。

アフレアに出店できない店舗も、このような仕組みによって、観光客の方にPRでき、実際にその店舗に行ってもらえる非常に効果的な取組みも実施しています。

アフレアが、毎日、観光客や地元の方で賑わい、あわら市の元気の源となる施設に発展できるよう、今後とも様々な方面から工夫した取組みを実施してまいりたいと思いますので、これからもアフレア活性化のアイデアをご提案いただくよう、ご協力をお願いいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

- 子ども議長（伊藤悠樹君） 12番、木田早耶乃君。
- 12番（木田早耶乃君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇野坂宗恭君

- 子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、13番、野坂宗恭君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

- 子ども議長（伊藤悠樹君） 13番、野坂宗恭君。
- 13番（野坂宗恭君） 金津中学校3年野坂宗恭です。

アフレアの待合スペースについて質問をします。

去年、あわら市にアフレアができました。本来、アフレアは観光客のためのスペースだと思います。ですが、アフレアは私たち学生にとって最高の勉強スペースでもあります。なぜなら、涼しくて友達と相談し合いながら勉強ができるからです。また、Wi-Fi環境が整っており、便利だからです。そのため、観光客と勉強したい学生の双方が共存できるスペースにする必要があると考えます。スペースを広げるために増築しようとする、たくさんの資金と場所が必要になり実現が難しくなります。そこで提案があります。aCUBEのカフェ以外の空いている所に勉強スペースを設置するのはどうでしょうか。

IKOSSAでも良いのではないかと思うかもしれませんが、IKOSSAの勉強スペースは利用時間が制限されていて駅から近くはなくaCUBEと比べて不便です、aCUBEを利用することで、アフレアは観光客が利用でき、学生は勉強できるスペースが確保できて、双方が共存できます。市の考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 経済産業部長、中嶋英一君。

○経済産業部長（中嶋英一君） アフレアが週末のイベントのときのみ賑わうのではなく、日ごろから市民の方が集う場所となっていることを、大変うれしく思っております。

しかし、平日の夕方に待合スペースが混雑することがあるとのことですので、その時は来訪者へのおもてなしの精神で譲り合ってご利用いただきたいと思います。

解決方法として、a キューブの活用に向けていただきありがとうございます。

a キューブは5つの建物からなりますが、キューブ1にはカフェがあり、キューブ2からキューブ4は利用料金1時間200円のレンタルスペースで、管理運営につきましては指定管理者に任せております。

現時点においては、利用料の発生に加え、利用時間も金津本陣 IKOSSA と同じ午後6時までとなっていること、また、キューブ3にはエアコンも設置されていますが、建物の構造上、機密性に欠けることから空調の効きが悪いなど、ご希望に沿うような利用は難しい状況でございます。

また、a キューブは、現在、駅前の賑わいづくりの中心がアフレアに移ったこともあり、今後の活用方法を検討しております。

具体的には、民間事業者から、市の財政コストの削減や市民サービスの向上、賑わい創出等に繋がるユニークな提案を募集しているところです。

どのような提案をいただけるか分かりませんが、提案を検討している事業者には、学生が集えるスペースが欲しいという意見があることをお伝えしたいと思います。

また、a キューブに限らず、中高生の皆さんが勉強したり語り合ったりできるような場所を新幹線駅周辺に作れないか検討してまいりたいと思います。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 13番、野坂宗恭君。

○13番（野坂宗恭君） 2つ目に北陸新幹線あわら温泉駅からアフレアに設置されているモニターについて質問します。今年の3月16日に金沢・敦賀間が延伸開業し、あわらに大きな変化をもたらしました。また、去年3月にオープンしたあわら温泉駅西口賑わい施設「アフレア」も、新たな施設として人気を博しています。そこで提案ですが、あわら温泉駅アフレアのモニターで、あわら市や福井県をPRする動画を流すのはどうでしょうか。アフレアのスクリーンで流れている映像は、あわら市のことが多く、駅でも映像がワンパターンであるように感じられます。敦賀駅や越前武生駅のモニターでは、福井県のことをよくPRされています。あわら温泉駅でも同じようなことをすると良いと思いますが、市の考えをお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 野坂議員ご指摘のとおり、アフレア1階のアフレアホールの大型ビジョンでは、開館当初から現在に至るまで、あわら市の観光PR動画や、あわら市・坂井市のイベント情報を主に放映しております。

これは、観光客の方がアフレアホールに立ち寄る時間がそれほど長くないことを考慮した上で、新幹線に乗って初めて、あわら市にお越しいただく方に、まずは、あわら市の魅力を知っていただき、市内の観光を楽しんでいただきたいという思いからでございます。

また、今流している映像を通して、地元のアフレア利用者の皆さまにも、まだまだ知られていないあわら市の魅力をお伝えする思いも込めております。

一方で、福井県内の観光情報については、2階の「ふくいミゅ〜ジアム」において、東尋坊や永平寺、福井県立恐竜博物館をはじめとする県内の主要観光地を映像やイラストマップで紹介しております。

あわら市は、福井県の北の玄関口であり、県内の観光情報をあわら市から発信していくことも大事なことを考えております。

議員にご提案いただきましたように、今後は、1階の大型ビジョンにおいても、福井県内の観光情報を発信していくことも検討してまいりたいと思います。

まずは、福井県と大型ビジョンを運営管理している福井新聞社と協議を進めたいと思います。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 13番、野坂宗恭君。

○13番（野坂宗恭君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇永田侑聖君

○子ども議長（伊藤悠樹君） 続きまして、通告に従い、14番、永田侑聖君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○子ども議長（伊藤悠樹君） 14番、永田侑聖君。

○14番（永田侑聖君） 金津中学校3年永田侑聖です。

アフレア周辺、あわら市内の活性化について質問をします。

アフレア周辺には福井駅周辺のような、カラオケやマックなど気軽に遊んだり食べたりする所が少ないです。アフレア周辺やあわら市内にもっと気軽に行けて楽しめたり、くつろげたりする場所をつくるといいのではないのでしょうか。例えば、駅前にはファストフード店などがあると、電車で帰る高校生などの学生や仕事帰りの人、

新幹線や電車を利用して来た観光客たちが気軽に休めたり楽しめたりすると思います。こういった場所に行くには、福井市の方まで出ないといけないというイメージがあり、あまり人が集まらないのだと僕は考えます。カラオケなども同様にあわら市には若者むけのレジャー施設が少なく若者があわら市に残ってくれないのではないかと考えます。そのような施設があるとあわら市に残って生活してくれる若者や、あわら市に来る人たちも増えて今よりもう少し知名度のある市になるのではないのでしょうか。市の知名度が上がれば、地域外からの観光客や遊びに来る人の流入増加が期待されます。そうするとインバウンドの影響で地域の活性化につながると思うので、今後のあわら市がよりよくなっていくでしょう。以上の点から、今あわら市に足りない物はファストフード店やカラオケなどのレジャー施設だと考えます。市のご意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） まったく同感でございます。

初めに、ファストフード店につきましては、永田議員がおっしゃるとおり、学生や仕事帰りの方、観光客が気軽に休めたり、楽しめたりでき、賑わいの創出や市民の利便性向上につながると考えております。

そこで、ファストフード店は、市で整備できないため、全国展開している企業に対し、本市に出店できないかと、これまでにアプローチしております。

大手のファストフードチェーンは、駅の乗降客数や売上など明確な出店基準があり、本市はその基準を満たしていないため、いまだ出店には至っておりません。

次にカラオケなどのレジャー施設についてですが、過去には、金津市街地にカラオケができるレジャー施設があり、芦原地区にもカラオケ店がありました。

おそらく、民間事業者は、利益が上がらないことを理由に営業を取りやめたと考えられます。

このような状況ですが、北陸新幹線の開業に伴い人の流れの変化もありますし、全ての事業者アプローチしているわけではありませんので、諦めずに出店いただける事業者を求めて情報発信や誘致に努めてまいりたいと考えているところでございます。

議員の「あわら市の知名度の向上により、観光客や来訪者などの関係人口の増加が図られる」とのご意見は、全くその通りであります。

今後ともあらゆる手段を活用し、市の魅力を内外に発信し、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う場所となるよう、知名度の向上に努め、関係人口の増加を図っていきます。

ぜひ、引き続きあわら市に住み続けてくださるよう、よろしくお願いいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 14番、永田侑聖君。

○14番(永田侑聖君) これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇高橋凜乃君

○子ども議長(伊藤悠樹君) 続きまして、通告に従い、15番、高橋凜乃君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 15番、高橋凜乃君。

○15番(高橋凜乃君) 金津中学校3年高橋凜乃です。

アフレア周辺の店とあわら温泉周辺の活性化について質問いたします。今年の3月下旬、芦原温泉駅で降りた観光客に、あわら温泉行きのバスはどれですかと尋ねられました。そこで私は、芦原温泉駅に来た観光客はほとんどあわら温泉の方に行ってしまう、アフレア周辺には来ないのではないのか、と考えました。それに加えてアフレア周辺の店では、地元の人は見かけますが、芦原温泉駅で降りた観光客は見かけないことに気が付きました。さらに、あわら市内に住む知人は、あわら温泉周辺で観光客にどこかおすすめの飲食店はないかと聞かれた際、どこに何があるか分からず答えられなかったと言います。そこで提案ですが、みんなの憩いの場であるアフレアと芦湯に、それぞれの周辺には何の店がどこにあり、どういうことができるのか一目で分かるイラストマップを設置してはいかがでしょうか。アフレア周辺には、美味しいフルーツサンドを買うことができる「フルーツスイーツみやび」、お洒落で美味しい料理を食べることができる「遍く」、芦湯周辺には、美味しい魚を買うことができる「真洋水産」、ガッツリ料理を食べることができる「まつぼっくり」などのお店があるのにあまり知られていないのは残念です。このようなマップを見てここに行ってみようと思える人も出てくるかと思いますが、市の考えをお聞かせください。よろしくお願いいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 副市長、前川嘉宏君。

○副市長(前川嘉宏君) 貴重なご意見とご提案、簡易版のマップの作成までしていただきまして、本当にありがとうございます。

また、観光客の方への案内など、高橋議員のおもてなしのご対応に重ねて感謝を申し上げます。

それでは、ご提案についてお答えいたします。

まず、ご提案の店舗等の案内看板の設置につきましては、公共施設の案内看板と違って、お店の新規開店や閉店など、頻繁な情報の更新作業が必要であるため、看板の設置は難しいと考えております。

観光客への店舗等の周知という点では、看板ではございませんが、あわら市の観光協会が作成しております、アフレアと芦湯周辺の店舗を示したマップがあります。

こういうものなのですが、ご覧になったことはありますか。このマップは、アフレアと湯のまち駅の観光案内所のほか、温泉旅館などの宿泊施設や置きたいと希望していただいているお店などでも設置しているところでございます。

今後は、来訪者だけでなく、あわら市民の目にも触れるよう、あわら市公式LINEなどでもPRしていきたいと思っております。

この際に、市民のみなさまには、市政情報だけでなく、イベントや防災等の情報を取得できる本市の公式LINEに、ぜひ登録をお願いします。

なお、現在、旬な情報や店舗の魅力については、インスタグラムなどのSNSを活用し、情報を発信しています。観光客の方には、地元の方との交流を求めておられる方もいますので、市民全員がおもてなしの心で対応していただけると非常に嬉しく思います。

また、今後、観光マップをリニューアルする時期が訪れましたら、議員が作成されたイラストマップのように、可愛いイラストを用いながら、見る人を惹きつけるものへとグレードアップすることも十分に検討してまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長（伊藤悠樹君） 15番、高橋凜乃君。

○15番（高橋凜乃君） 2つ目にあわらの観光戦略について質問いたします。福井県では北陸新幹線が開通し、あわら市にもたくさんの観光客が訪れています。それにより、あわら市の魅力を知ってもらうためにあわら市では金津創成会があわら市内に訪れた人を案内しPRすることで観光客を増やす取り組みが行われています。そこで提案ですが、ただあわら市に来てもらうだけでなく、カヌーやガラス細工体験などの他では、知られていないような場所での体験型ツアーを組み立てて、まわってもらうことであわら市の魅力を知ってもらうのはどうでしょうか。ですが芦原温泉から観光地が遠く歩いて行くことができないため、諦めてしまう人がいると思います。そこで例えば観光地までタクシーやバスに乗ってもらうと交通費を一部補助し、タクシーに乗る人が増えることでたくさんの観光客に訪れてもらえると考えています。観光客がバスやタクシーを利用することで交通会社にもメリットがあり運転手さんとお客さんとのコミュニケーションを通して、あわら市の魅力が伝わることで、またあわら市に来てもらえるのではないのでしょうか。あまり知られて

いないようなマイナーな場所でのターゲットを絞った体験型ツアーを組み、駅から遠い観光地には、タクシーを利用してもらい、いろんな所に行くことであわら市を賑やかにできると考えますが、市の考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 市長、森之嗣君。

○市長(森之嗣君) あわら市の魅力発信に対し、具体的なご提案をいただき、ありがとうございます。

高橋議員ご指摘のとおり、観光客が、ただあわら市に来てもらうだけではなく、市内を周遊し、「モノの消費」、「コトの消費」をしてもらうことは、地域経済の活性化に非常に有効であると考えております。

市といたしましても民間事業者と協力しながら、吉崎のお寺でお経を書き写す「写経体験」や「お香袋作り体験」、地下宮殿のような不思議な空間をガイド案内付きで楽しめる「宮谷石切場跡ツアー」、あわら温泉の華と言われる芦原芸妓の着付けにより、本物の芸妓になれる「芸妓変身体験」など、様々な体験コンテンツの販売をしております。

高橋議員がおっしゃるように、これからの観光は、その地域ならではの体験ができるという要素が重要でありますので、今後は、そういった商品をさらに充実させていきたいと考えております。

また、このような体験型ツアーは移動手段が大変重要な課題となりますが、現在、あわら市では、観光タクシー事業「あわらぐるっとタクシー」を運行しております。

このタクシーは、市が指定した観光スポット間をワンコイン500円で乗車できるもので、吉崎エリアや金津創作の森など市内29箇所の観光スポットを巡ることができます。

なお、このタクシーにご乗車いただいた方に、アンケートを実施しております。タクシー運転手に関する回答には、「運転手さんが様々な観光情報を教えてくれてよかった」「運転手さんが親切に対応してくれた」などといった回答をいただいております。運転手とのコミュニケーションを通じ、あわら市の魅力もお伝えできているものと認識しております。

今後も、市内各地が観光客で賑わうよう、様々なツールを用いて、あわら市の魅力を広くPRするよう努めてまいりたいと思います。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○子ども議長(伊藤悠樹君) 15番、高橋凜乃君。

○15番(高橋凜乃君) これで質問を終わります。ありがとうございました。

◎子ども議会閉会

○こども議長（伊藤悠樹君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

子ども議員の皆さん、本日は大変お疲れ様でした。

また、森市長、甲斐（かい）教育長をはじめ理事者の皆様におかれましては、丁寧な御答弁ありがとうございました。

最後に、私たちの補佐をしていただいた市議会議員の皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございました。これをもって、令和6年度あわら市子ども議会を閉会します。

○事務局長（東 俊行君） 以上で、子ども議会の議事はすべて終了いたしました。

ここで、森市長よりご講評をいただきます。

森市長、よろしく願いいたします。

---

◎市長講評

○市長（森 之嗣君） みなさん大変ご苦労さまでございました。

本日は、皆さんの真剣な眼差し、新鮮な視点から、大変有意義な、そして素晴らしいアイデア、ご提案をたくさんいただき、とても嬉しく思っているところでございます。

金津・芦原、両中学生代表の16人の子ども議員の皆さん、ありがとうございました。

そして、お疲れさまでございました。

皆さんからいただいた、ご質問やご提案は、どれも、このあわら市をより良くしたいという思いが伝わってくる、真剣に考えられた素晴らしいものばかりでした。

皆さんのこの熱い気持ちは、必ずやあわら市の明るい未来につながると思っております。

そして、議場での堂々たる姿は、とても立派で、将来が頼もしく思えました。そんな子ども議員の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。

これからの時代を担い、未来を築いていくのは皆さん方です。

今回の子ども議会により、皆さんがふるさと「あわら」の歴史、文化、自然、産業などを学び、様々な思いを巡らせたことは、これから皆さんが色々な経験を積み重ねていく中で、貴重な財産となることと思います。

私は、これからも皆さんが、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、自らの手で未来を切り開き、将来のあわら市の、福井県の、そして日本の、世界の担い手として、また、リーダーとして成長されていくことを願ってやみません。

私も皆さんとともに、より良いあわら市の未来を築いていくため全力を尽くして

まいります。

終わりになりますが、この子ども議会の開催に当たりまして、大変御尽力をいただきました学校関係者の皆様、保護者の皆様、そして市議会の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今後も市政運営に対しまして、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げ、講評といたします。

本日はどうもありがとうございました。

---

◎閉会

○事務局長（東 俊行君） 森市長、ありがとうございました。

これをもちまして、子ども議회를終了いたします。

この後、記念撮影を行いますので、そのまま自席でお待ちください。なお、市長、副市長、教育長を除く部長の皆様はここでご退席ください。お疲れ様でございました。

（午前11時50分）

---